

# 連続講座

移住者の権利キャンペーン2020  
「ここにいる koko ni iru.」企画

## 移民二世からの研究発信

外国から出稼ぎ労働者が来日するようになって30年が経過し、日本で育った子ども世代のなかから、「移民研究者」が誕生しています。「移民」を、みずから経験してきた研究者たちは、自分たちを対象としてきた先行研究をどのように読み、研究者としてみずからはどのようにアプローチしていくのでしょうか。

第二回目は、ペルーにルーツをもつ小波津ホセさんの報告と、小井土彰宏さんのコメントです。



報告者：**小波津ホセ**

(宇都宮大学大学院博士課程)

### 「日本社会におけるペルー人第2世代の社会進出 ～日本社会と不協和型文化変容～(仮)」

コメンテーター：**小井土彰宏**(一橋大学)

2017. **12.17.** (Sun.) **16:00~18:00**

**上智大学**

**四谷キャンパス2号館6階603**

(東京都千代田区紀尾井町7-1)

**申し込み不要・無料**

移住者の権利キャンペーン2020  
「ここにいる koko ni iru.」とは

移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)は、移住者と多様なルーツをもつ人々の権利と尊厳が保障される社会、制度、政策をめざして、多くの人が参加し、意見を出し合う場をつくる、移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる koko ni iru」をスタートしました。

タウンミーティングなどを通し、移住者あるいは外国にルーツを持つ方々が「ここにいる」ことを社会に広めるとともに、2020年に向けた政策提言を発表します。